

調査項目「これからの学校給食」

1. はじめに

箕面市の学校給食は、栄養のバランスがとれた食事を友だちや先生と一緒に食べることで、児童生徒に食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たし、教育の一環として行われている。

今後、本市の学校給食が箕面産の食材の活用、低アレルゲン献立の実施など、「これからの学校給食」として文教常任委員会のテーマを決定し、行政視察や意見交換会などを実施した。

2. 調査経過

日 時	活 動	概 要
R 7. 2. 6 R 7. 2. 7	視 察	・ 福岡県直方市 学校給食の無償化、食育・地産地消の取り組みについて ・ 福岡県水巻町 地産地消の取り組みについて
R 7. 5. 10	地域別意見交換会	市内3箇所にて開催 「これからの学校給食」についてグループディスカッション形式で意見交換
R 7. 5. 14	分野別意見交換会	「箕面市の学校給食について～地産地消を進めるために～」をテーマに、市内農業者4名の方、給食調理業務委託業者3社と意見交換

3. 調査報告と提案

(1) 学校給食における課題について

農業者の高齢化や後継者問題、農業従事者の人手不足など、農業を取り巻く諸課題が学校給食における箕面産食材の供給の課題となっている。

視察先の福岡県直方市、水巻町においても、地産地消に取り組んでいたことから、学校食育としても学校給食の重要性を確認できた。

(2) 学校給食の今後について

箕面産の食材を多く使用し、多くの児童・生徒が同じ給食を食べられる低アレルゲン献立とし、学校給食を教育の一環として実施していくため、農業者や給食調理業務委託業者と連携を密にして学校給食の安全な供給に取り組むことが重

要だと考える。

4. おわりに

箕面市は大阪府下においても農業・農地が維持されている環境にはあるが、これを継続するための諸課題に対しては農業者だけでは解決できない状況にある。

学校給食と地産地消の両立には行政の全面的な支援が必要である。